



中央道 調布～八王子間が開通

昭和 37 年 5 月以来、日本道路公団が鋭意工事を進めてきた高速自動車国道富士吉田線延長 92.7 kmのうち、特に早期開通を要望されていた調布～八王子間の 18.1 kmが 12 月 15 日供用を開始した。

この区間は三多摩の衛星都市を結び、人口稠密な平地または台地を通過するので非常に多くの交通需要が見込まれ、当初から路線の選定に当っては高速安全性、快適性を失わないよう曲線半径は大きくとり調和のとれた線形とすること、土地利用計画および公共物件等を尊重し障害とならないようにすること、インターチェンジの建設が容易で連結道路との交通処理が適当であること等に特に留意して設計が行われた。

この結果最小曲線半径は 1 200 m、この区間の 33 %に当る 5.9 kmは橋梁、高架となっており、調布インターチェンジは全面高架三層の本格的なインターチェンジでその偉容を誇っている。

また八王子インターチェンジは丘陵地帯にあり、これに連結する 16 号線との関係から地形への適合および管理中枢を収容したこと等によりインターチェンジとしては 19 万 m^2 というわが国最大の規模となっている。写真は完成直前の調布インターチェンジである。詳細は本文ニュース欄を参照されたい。

ほぼ完成した下久保ダム

下久保ダムは、利根川総合開発の一環をなすものであり、群馬県多野郡鬼谷町下久保地先に高さ 129 m の重力式ダムを築造し、総貯水容量 130 000 000 m³ の貯水池を設けるものである。本ダム建設により、治水面では烏川合流後の利根川洪水量を 1 000 m³/sec 低減し、かんがい計画としては神流川沿岸の既得用水を確保するほか、栗橋地点における利根川本川流量を上流ダム群の補給とあわせて 140 m³/sec に改善するとともに、東京都水道用水を含む特定用水として矢木沢ダムよりの放流とあわせて 20 m³/sec を確保する計画である。

また、下久保ダムは建設省の直轄事業として、昭和 34 年 4 月に着工し、さらに昭和 37 年 10 月には、水資源開発公団に移籍され、引き続き工事を進め、昭和 42 年 11 月 24 日に一部貯水を開始したものである。

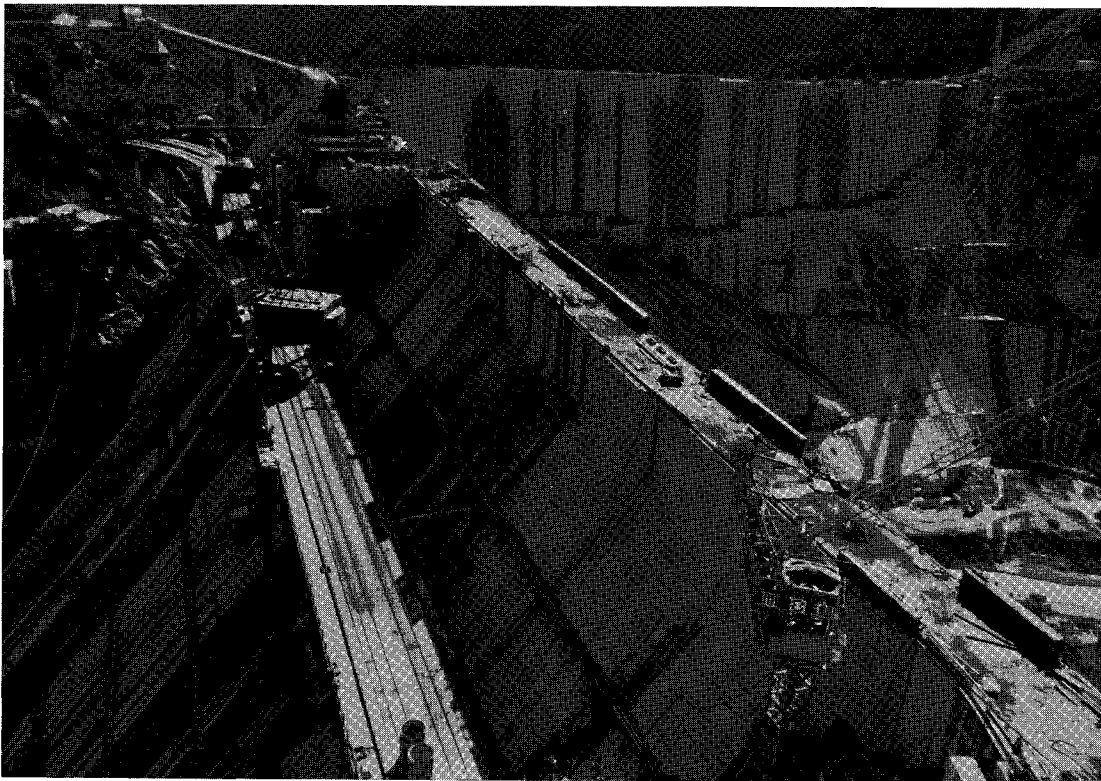
なお諸元はつぎのとおりである。



(1) ダム		(2) 貯水池	
堤高 主ダム	129.0 m	常時満水位 E L	296.8 m
補助ダム	70.5 m	低水位 E L	223.7 m
堤長 主ダム	310.0 m	有効水深	73.1 m
補助ダム	295.0 m	総貯水容量	130 000 000 m ³
堤体積	1 280 000 m ³	有効貯水容量	120 000 000 m ³

←昭和 42 年 10 月 28 日撮影

↓昭和 42 年 11 月 4 日撮影



写真提供・水資源開発公団

内容・主旨紹介

今月号の登載記事の要旨を記してあります。切り取ってパンチカードにはりつけて整理に供して下さい。

特集・'67 の土木界／土木学会誌編集委員会

土木学会誌第 52 巻第 12 号, pp. 13~80, 昭和 42 年 12 月 (December 1967)

本年の土木界のできごとをトピック的に集約して、通読することにより今年一年間の動きがわかるよう企画したのが本特集である。なるべく難解な記述をさけるようにして、読物風な記述を主旨とした。内容は、以下の 17 件を中心にまとめた。すなわち、(1) 事故防止問題に注目する、(2) 深刻化する公害問題の現状と動向、(3) 空港整備の長期展望、(4) 橋梁関係の話題、(5) 海の交通、(6) 増大する都市人口を支える街づくり、(7) 充実する鉄道網、(8) 河川と骨林、(9) 西日本災害と羽越災害、(10) 耐震工学・大型振動台完成、(11) 国鉄、貨車走行安定試験を開始、(12) 建設事業と国際協力、(13) 高くなる海岸堤防、(14) 今年の水不足とその教訓、(15) 揚水発電の話題、(16) 長大トンネルの話題、(17) 建設労働者の不足にあえぐ業界である。

土木学会出版案内

編著者名	図 書 名	判型	ページ数	会員 特価	定価	送料	備考
土木学会編	コンクリート標準示方書【昭和 42 年版】	B 6	446	800	1000	100	
同	コンクリート標準示方書解説	A 5	354	1000	1300	100	
同	ディビダーク工法設計施工指針 (案)	B 5	88	500	700	70	
同	MDC 工法設計施工指針 (案)	B 5	94	500	700	900	
同	夏期講習会資料	B 5	127	700	900	100	
同	プレストレスト コンクリート 設計施工指針	B 6	124	250	350	90	
同	人工軽量骨材コンクリート設計示工指針(案)	B 6	53	250	300	50	
同	プレバッド コンクリート施工指針 (案)	B 6	38	180	220	50	
同	鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)	B 6					近 刊
日本道路公団 編	関 門 ト ン ネ ル 工 事 誌	B 6	692	1 500	2 000	200	
土木学会編	ト ン ネ ル 標 準 示 方 書	A 5	34		100	30	示方書 条文
同	トンネル標準鉄方書解説	A 5	138	500	600	50	条文を 詳細に 解説
同	土木製図基準	A 4	170	1100	1300	150	
同	工事報告 天草五橋	B 5					
同	第 14 回海岸工学講演会講演集	B 5			2500	150	
同	Civil Eng. in Japan	A 4	86		1200	150	

申込先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会

